



2024年3月期 第3四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2024年2月8日

上場会社名 株式会社 アマダ 上場取引所 東
コード番号 6113 URL <https://www.amada.co.jp>
代表者（役職名） 代表取締役社長執行役員（氏名） 山梨 貴昭
問合せ先責任者（役職名） 取締役常務執行役員（氏名） 三輪 和彦 (TEL) 0463-96-1111
四半期報告書提出予定日 2024年2月8日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト、機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年12月31日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	285,217	10.2	40,256	15.0	40,796	18.8	28,158	16.1	28,011	16.5
2023年3月期第3四半期	258,905	19.2	35,000	31.8	34,346	20.9	24,252	19.1	24,039	19.0

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 40,958百万円(57.4%) 2023年3月期第3四半期 26,014百万円(△5.1%)

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	81.51	—
2023年3月期第3四半期	69.15	—

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	653,115	517,591	513,033	78.6
2023年3月期	647,562	508,521	504,127	77.8

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	22.00	—	26.00	48.00
2024年3月期	—	25.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	32.00	57.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		親会社の所有者に帰属 する当期利益		基本的1株当たり当期 利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	395,000	8.0	57,000	14.3	39,000	14.2	115.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年3月期3Q	359,115,217株	2023年3月期	359,115,217株
2024年3月期3Q	21,112,474株	2023年3月期	11,458,462株
2024年3月期3Q	343,664,814株	2023年3月期3Q	347,658,724株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	6
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	7
(2) 要約四半期連結損益計算書	9
(3) 要約四半期連結包括利益計算書	10
(4) 要約四半期連結持分変動計算書	11
(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	13
(継続企業の前提に関する注記)	13
(セグメント情報)	13
3. 補足情報	14
受注及び販売の状況	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループでは長期成長戦略「長期ビジョン2030」を掲げ、2023年5月に2025年までの中期3ヶ年計画「中期経営計画2025」を新たに策定し、公表しました。この中期経営計画では①売上収益4,000億円の必達と収益性の改善、②長期成長戦略への活動開始、③資本政策(株主還元)の実施、④E S G経営・体制強化の4つの経営戦略により、継続的な成長と企業価値の向上に取り組んでいます。

第3四半期連結累計期間における世界経済は、物価上昇とインフレ抑制に伴う各国の金融引き締めの継続、海外景気の下振れ懸念、地政学リスクなど、先行きは依然として不透明な状況が続いておりますが、製造業全般における省電力化・自動化・高生産性商品を目的とした設備投資が底堅く推移し、また、生産活動の正常化に伴い受注残の消化が進みました。

売上収益は285,217百万円(前年同期比10.2%増)となり、このうち、国内は102,242百万円(前年同期比6.0%増)、海外は182,975百万円(前年同期比12.6%増)となりました。

営業利益は、資材費や人件費の増加が続くものの、売上収益の増加や為替影響のほか、原価低減活動や販売価格の改善の取り組みなどにより、40,256百万円(前年同期比15.0%増)となり、親会社の所有者に帰属する四半期利益は28,011百万円(前年同期比16.5%増)となりました。

事業別・地域別の概況については、以下のとおりです。

(事業別売上収益、営業利益の状況)

事業別	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減率 (%)
	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	
金属加工機械事業					
売上収益	212,652	82.1	235,938	82.8	11.0
(板金部門)	(189,599)	(73.2)	(211,471)	(74.2)	(11.5)
(微細溶接部門)	(23,052)	(8.9)	(24,467)	(8.6)	(6.1)
(調整額)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
営業利益	28,762	—	33,887	—	17.8
金属工作機械事業					
売上収益	45,292	17.5	48,310	16.9	6.7
(切削・研削盤部門)	(31,107)	(12.0)	(33,483)	(11.7)	(7.6)
(プレス部門)	(14,184)	(5.5)	(14,826)	(5.2)	(4.5)
(調整額)	(—)	(—)	(—)	(—)	(—)
営業利益	5,552	—	5,666	—	2.1
その他(注)					
売上収益	961	0.4	968	0.3	0.8
営業利益	685	—	701	—	2.3
調整額					
売上収益	—	—	—	—	—
営業利益	—	—	—	—	—
合計(連結)					
売上収益	258,905	100.0	285,217	100.0	10.2
営業利益	35,000	—	40,256	—	15.0

(注) その他は、遊休地の有効利用を目的としたショッピングセンター等の不動産賃貸事業等です。

① 金属加工機械事業

売上収益は235,938百万円（前年同期比11.0%増）、営業利益は33,887百万円（前年同期比17.8%増）となりました。

<板金部門>

地 域	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減率 (%)
	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	
日 本	67,265	35.5	71,469	33.8	6.2
海 外	122,334	64.5	140,002	66.2	14.4
(北米)	(55,575)	(29.3)	(64,201)	(30.3)	(15.5)
(欧州)	(39,658)	(20.9)	(49,660)	(23.5)	(25.2)
(アジア他)	(27,099)	(14.3)	(26,140)	(12.4)	(△3.5)
合 計	189,599	100.0	211,471	100.0	11.5

(注) 本表の地域別売上収益は、顧客の所在地別の売上収益です。(以下の表も同様。)

なお、当第3四半期累計期間における板金部門の地域別の経営環境は以下のとおりです。

日本：先行き不透明感が増していく中、投資マインドが徐々に下がる状況にあるものの、中小企業を中心に人手不足感が高まる傾向にあり、自動化に対する需要は依然根強いものがあります。業種別では建築や農業用機械、電装照明関連が堅調に推移しました。売上収益は71,469百万円（前年同期比6.2%増）となりました。

北米：景気減速懸念が意識される中、税制優遇措置等によるインフラ投資や自動化・生産能力の増強など顧客ニーズの高まりを背景に需要が進み、特にカナダにおいては市場の安定もあり、農業、自動車、一般金属関連などを中心に好調に推移しました。売上収益は64,201百万円（前年同期比15.5%増）となりました。

欧州：景気後退の影響を受け、需要の低迷が続いているものの、全体的に好調に推移したイギリス、公的資金により設備投資が進むスペイン、産業政策としてエネルギー効率に重点を置くイタリア、消費が安定し販売促進も進むスカンジナビアなどが堅調に推移しました。売上収益は49,660百万円（前年同期比25.2%増）となりました。

アジア他：インドやASEANの一部地域では、インフラや建設関連における設備投資の需要が堅調に推移した一方で、中国やその他周辺国においては、経済情勢が依然として停滞している中、投資計画の遅延が増加しました。売上収益は26,140百万円（前年同期比3.5%減）となりました。

<微細溶接部門>

地 域	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減率 (%)
	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	
日 本	3,910	17.0	4,348	17.8	11.2
海 外	19,142	83.0	20,118	82.2	5.1
(北米)	(5,817)	(25.2)	(7,487)	(30.6)	(28.7)
(欧州)	(4,279)	(18.6)	(4,727)	(19.3)	(10.5)
(アジア他)	(9,044)	(39.2)	(7,903)	(32.3)	(△12.6)
合 計	23,052	100.0	24,467	100.0	6.1

引続きe-mobility市場の好調を背景に電装品や電子部品向けの投資が進みました。北米では車載電池関連の需要が拡大したほか、医療業界向けも好調に推移しました。

② 金属工作機械事業

売上収益は48,310百万円（前年同期比6.7%増）、営業利益は5,666百万円（前年同期比2.1%増）となりました。

<切削・研削盤部門>

地 域	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減率 (%)
	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	
日 本	12,973	41.7	14,381	42.9	10.9
海 外	18,134	58.3	19,102	57.1	5.3
合 計	31,107	100.0	33,483	100.0	7.6

世界各地における金利上昇の影響により、住宅や建築業界を中心に投資の先送りなど需要は伸び悩みましたが、国内では建築物や配電盤・制御盤といったインフラ関連の需要が増加しました。

<プレス部門>

地 域	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減率 (%)
	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	
日 本	11,338	79.9	11,087	74.8	△2.2
海 外	2,846	20.1	3,738	25.2	31.4
合 計	14,184	100.0	14,826	100.0	4.5

海外においては、インフレの長期化により設備投資に対して消極的な様子が見られました。国内では、建築部品関連の受注が堅調に推移し、プレスマシンの需要を牽引しました。

なお、各部門別の状況を合算した主要地域の状況は以下のとおりです。

(地域別売上収益の状況)

地 域	前第3四半期連結累計期間		当第3四半期連結累計期間		増減率 (%)
	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	売上収益 (百万円)	構成比 (%)	
日 本	96,432	37.2	102,242	35.8	6.0
海 外	162,472	62.8	182,975	64.2	12.6
(北米)	(69,881)	(27.0)	(81,045)	(28.4)	(16.0)
(欧州)	(49,881)	(19.3)	(60,625)	(21.3)	(21.5)
(アジア他)	(42,710)	(16.5)	(41,303)	(14.5)	(△3.3)
合 計	258,905	100.0	285,217	100.0	10.2

(2) 財政状態に関する説明

財政状態の概要及び分析は以下のとおりです。

	前連結会計年度末 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間末 (2023年12月31日)	増減
流動資産(百万円)	398,716	403,159	4,442
非流動資産(百万円)	248,846	249,956	1,109
総資産(百万円)	647,562	653,115	5,552
負債(百万円)	139,041	135,524	△3,517
資本(百万円)	508,521	517,591	9,070
親会社所有者帰属持分比率	77.8%	78.6%	0.8%pt

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ5,552百万円増加し、653,115百万円となりました。流動資産は、主に棚卸資産の増加により、4,442百万円増加の403,159百万円となり、非流動資産は主に設備投資による有形固定資産の増加等により、1,109百万円増加の249,956百万円となりました。

負債は主に営業債務及びその他の債務の減少等により、前連結会計年度末と比べ3,517百万円減少の135,524百万円となりました。また資本については、利益剰余金の増加や円安による在外営業活動体の換算差額の増加により、9,070百万円増加の517,591百万円となり、これらの結果、親会社所有者帰属持分比率は前連結会計年度末と比べ77.8%から78.6%と0.8%pt増加しました。

連結キャッシュ・フローの区分別状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローの主な増加要因は、税引前四半期利益40,796百万円、減価償却費及び償却費13,830百万円、主な減少要因は棚卸資産の増加16,364百万円、法人所得税の支払額20,474百万円でした。その結果、23,588百万円の収入(前年同期比14,791百万円の収入増)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローの主な減少要因は、有形固定資産・無形資産の取得による支出13,109百万円でした。その結果、9,759百万円の支出(前年同期比3,312百万円の支出増)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローの主な減少要因は、配当金の支払額17,589百万円、自己株式の取得による支出14,098百万円でした。その結果、30,046百万円の支出(前年同期比10,599百万円の支出増)となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第3四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末に比べ15,888百万円減の82,668百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、現時点では2023年11月9日に公表した予想値に変更はありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2023年12月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	98,556	82,668
営業債権及びその他の債権	130,319	124,171
棚卸資産	134,536	156,584
その他の金融資産	24,937	27,708
その他の流動資産	10,367	12,026
流動資産合計	398,716	403,159
非流動資産		
有形固定資産	176,668	181,122
のれん	6,426	6,628
無形資産	11,810	12,040
持分法で会計処理されている 投資	702	881
その他の金融資産	32,656	28,166
繰延税金資産	11,124	11,461
その他の非流動資産	9,457	9,654
非流動資産合計	248,846	249,956
資産合計	647,562	653,115

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期 連結会計期間 (2023年12月31日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	62,972	56,558
借入金	4,657	9,523
未払法人所得税	10,595	5,236
その他の金融負債	3,355	4,249
引当金	1,877	2,291
その他の流動負債	37,555	40,122
流動負債合計	121,013	117,982
非流動負債		
借入金	667	—
その他の金融負債	10,300	10,342
退職給付に係る負債	3,058	3,280
引当金	7	7
繰延税金負債	933	905
その他の非流動負債	3,061	3,005
非流動負債合計	18,028	17,541
負債合計	139,041	135,524
資本		
資本金	54,768	54,768
資本剰余金	143,883	143,884
利益剰余金	288,300	298,707
自己株式	△12,099	△26,196
その他の資本の構成要素	29,273	41,870
親会社の所有者に帰属する 持分合計	504,127	513,033
非支配持分	4,393	4,558
資本合計	508,521	517,591
負債及び資本合計	647,562	653,115

(2) 要約四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上収益	258,905	285,217
売上原価	△145,395	△159,282
売上総利益	113,510	125,935
販売費及び一般管理費	△79,030	△86,096
その他の収益	1,143	972
その他の費用	△622	△554
営業利益	35,000	40,256
金融収益	2,250	3,513
金融費用	△3,113	△3,175
持分法による投資利益	208	201
税引前四半期利益	34,346	40,796
法人所得税費用	△10,094	△12,638
四半期利益	24,252	28,158
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	24,039	28,011
非支配持分	212	147
四半期利益	24,252	28,158
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	69.15	81.51
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	—	—

(3) 要約四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期利益	24,252	28,158
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する資本性金融資産	△5,011	286
項目合計	△5,011	286
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	6,769	12,501
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する負債性金融資産	△8	2
持分法によるその他の包括利益	13	10
項目合計	6,774	12,514
その他の包括利益合計	1,762	12,800
四半期包括利益	26,014	40,958
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	25,784	40,607
非支配持分	229	351
四半期包括利益	26,014	40,958

(4) 要約四半期連結持分変動計算書

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分									非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素				合計		
					その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	在外営業活動体の換算差額	持分法によるその他の包括利益	合計			
2022年4月1日残高	54,768	143,883	269,067	△12,095	6,101	18,052	9	24,164	479,788	4,246	484,034
四半期利益	—	—	24,039	—	—	—	—	—	24,039	212	24,252
その他の包括利益	—	—	—	—	△5,020	6,752	13	1,745	1,745	17	1,762
四半期包括利益	—	—	24,039	—	△5,020	6,752	13	1,745	25,784	229	26,014
配当金	—	—	△14,949	—	—	—	—	—	△14,949	△202	△15,151
自己株式の取得	—	—	—	△2	—	—	—	—	△2	—	△2
自己株式の処分	—	0	—	0	—	—	—	—	0	—	0
所有者との取引額等合計	—	0	△14,949	△2	—	—	—	—	△14,951	△202	△15,154
2022年12月31日残高	54,768	143,883	278,157	△12,097	1,080	24,805	23	25,909	490,621	4,273	494,894

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分									非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素				合計		
					その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	在外営業活動体の換算差額	持分法によるその他の包括利益	合計			
2023年4月1日残高	54,768	143,883	288,300	△12,099	1,378	27,881	13	29,273	504,127	4,393	508,521
四半期利益	—	—	28,011	—	—	—	—	—	28,011	147	28,158
その他の包括利益	—	—	—	—	290	12,295	10	12,596	12,596	204	12,800
四半期包括利益	—	—	28,011	—	290	12,295	10	12,596	40,607	351	40,958
配当金	—	—	△17,603	—	—	—	—	—	△17,603	△187	△17,790
自己株式の取得	—	—	—	△14,098	—	—	—	—	△14,098	—	△14,098
自己株式の処分	—	0	—	0	—	—	—	—	0	—	0
所有者との取引額等合計	—	0	△17,603	△14,097	—	—	—	—	△31,701	△187	△31,888
2023年12月31日残高	54,768	143,884	298,707	△26,196	1,669	40,176	24	41,870	513,033	4,558	517,591

(5) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	34,346	40,796
減価償却費及び償却費	13,244	13,830
金融収益及び金融費用	2,254	1,870
持分法による投資利益	△208	△201
固定資産除売却損益	390	95
棚卸資産の増減	△28,127	△16,364
営業債権及びその他の債権の増減	8,152	12,137
営業債務及びその他の債務の増減	△3,175	△7,799
退職給付に係る負債の増減	△28	△144
引当金の増減	35	308
その他	△3,598	△1,201
小計	23,285	43,326
利息の受取額	660	900
配当金の受取額	91	34
利息の支払額	△169	△198
法人所得税の支払額	△15,071	△20,474
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,796	23,588
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額	△4,605	△2,054
有価証券の取得による支出	△19,000	△9,000
有価証券の売却及び償還による収入	23,500	9,500
投資有価証券の売却及び償還による収入	11,425	4,585
有形固定資産の取得による支出	△14,558	△9,590
有形固定資産の売却による収入	673	141
無形資産の取得による支出	△3,257	△3,518
その他	△624	176
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,447	△9,759
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	344	2,260
短期借入れの返済による支出	—	△1,419
短期借入金の純増減額	△641	4,742
長期借入れによる収入	18	—
長期借入れの返済による支出	△2,054	△1,686
リース負債の返済による支出	△1,971	△2,070
自己株式の取得による支出	△2	△14,098
配当金の支払額	△14,938	△17,589
非支配持分への配当金の支払額	△202	△187
その他	0	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△19,447	△30,046
現金及び現金同等物に係る換算差額	287	329
現金及び現金同等物の増減額	△16,811	△15,888
現金及び現金同等物の期首残高	106,791	98,556
現金及び現金同等物の四半期末残高	89,980	82,668

(6) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

(単位: 百万円)

	金属加工 機械	金属工作 機械	その他	合計	調整額	要約四半期 連結財務諸 表計上額
売上収益						
外部顧客からの売上収益	212,652	45,292	961	258,905	—	258,905
セグメント間の売上収益	—	—	—	—	—	—
合計	212,652	45,292	961	258,905	—	258,905
セグメント利益	28,762	5,552	685	35,000	—	35,000
金融収益						2,250
金融費用						△3,113
持分法による投資利益						208
税引前四半期利益						34,346

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益は、営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

(単位: 百万円)

	金属加工 機械	金属工作 機械	その他	合計	調整額	要約四半期 連結財務諸 表計上額
売上収益						
外部顧客からの売上収益	235,938	48,310	968	285,217	—	285,217
セグメント間の売上収益	—	—	—	—	—	—
合計	235,938	48,310	968	285,217	—	285,217
セグメント利益	33,887	5,666	701	40,256	—	40,256
金融収益						3,513
金融費用						△3,175
持分法による投資利益						201
税引前四半期利益						40,796

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業等を含んでおります。

2. セグメント利益は、営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

受注及び販売の状況

1. 受注状況

部門別	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)				当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)			
	受注高		受注残高		受注高		受注残高	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
板金部門	218,250	73.5	140,096	77.8	203,101	73.8	127,270	75.6
微細溶接部門	26,986	9.1	14,208	7.9	26,233	9.5	16,215	9.6
切削・研削盤部門	35,749	12.0	14,619	8.1	30,135	10.9	14,570	8.7
プレス部門	15,188	5.1	11,097	6.2	14,802	5.4	10,242	6.1
その他	961	0.3	—	—	968	0.4	—	—
合計	297,136	100.0	180,021	100.0	275,242	100.0	168,298	100.0

2. 販売実績

部門別	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)
板金部門	189,599	73.2	211,471	74.2
微細溶接部門	23,052	8.9	24,467	8.6
切削・研削盤部門	31,107	12.0	33,483	11.7
プレス部門	14,184	5.5	14,826	5.2
その他	961	0.4	968	0.3
合計	258,905	100.0	285,217	100.0